

# 3-7

## 入浴業務改善についての取り組み

### 個別対応強化によるサービス向上

個別入浴

リスク軽減

社会福祉法人贊育会 特別養護老人ホーム 第二清風園

職種・発表者	杉山 文子	共同研究者（いる場合）	山村 美貴子・中山 順
所在地	東京都町田市薬師台3-270-1	共同研究者（いる場合）	佐々木 優佳
TEL：	042-736-6906	E-mail：	seifu2@san-ikukai.or.jp
FAX：	042-736-6903	URL：	

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	社会福祉法人贊育会の特別養護老人ホームとして、1997年4月町田市の支援のもと設立。特別養護老人ホーム80名、短期入所施設50名、在宅サービスセンター50名、地域包括支援センター、居宅介護支援事業の高齢者総合福祉施設である。
----------------------------	--

### 〈取り組んだ課題〉

中間浴(自力歩行は難しいが、立位可の方対象)業務に関する『誘導→脱衣→中介助→誘導』の流れの中で、利用者1名に対し、誘導、着脱をスタッフ1名が担当することの検討。ただし、人員体制は現状維持。

### 〈具体的な取り組み〉

東京都の「特別養護老人ホームの先駆的な取り組み」に対する補助金の交付を受け「日本能率協会総合研究所」のコンサルティングを受けながら業務改善の取り組を行った。

- 業務マニュアルをもとに、現状業務シート入力作成。
- 現状業務シート分析、見直しの実施。

#### 〈2階〉

- ・ 入浴送迎担当2名⇒1名へ変更。
- ・ 中介助と送迎担当の役割分担の見直し。
- ・ 利用者案内のタイミングの検討。
- ・ 1ヶ月間のモニタリングの実施。

#### 〈3階〉

- ・ 中介助2名⇒3名へ変更、送迎担当をなくす。

### 〈活動の成果と評価〉

#### 〈2階〉

- ・ 利用者の待機
- ・ 上半身露出時間を短縮することができた。
- ・ 待機時間短縮により、転倒等のリスクがなくなった。

#### 〈3階〉

- ・ 1名の利用者様に対して、1名のスタッフがマンツーマンで対応できる。
- ・ 担当制にする事で、忘れ物を防ぎ、中介助から送迎へスタッフが替わり、流れ作業的な動作がなくなる。
- ・ 「安心感がある。」「物が頼み易くなった。」「利用者様とゆっくり対応できる。」等の声が聞かれている。

### 〈今後の課題〉

#### 〈2階〉

- ・ 入浴人数が多くなると、慌しくなってしまう。
- ・ 平行作業になりやすいため、交互案内への取り組みの再検討が必要。・衣類の準備が不十分だとスムーズに送迎が行えない。
- ・ 浴後処置の看護師との連携が不十分・洗濯場の回転が悪くタオル補充が不十分。

#### 〈3階〉

- ・ 利用者数が多くなると、ゆっくり対応する事が難しい時がある。

### 【メモ欄】